

研究経費（知的貢献費） 改正のポイント

「知的貢献費」の積算区分を新設しました。

直接的なコスト	直接経費	<p>個別の研究ごとに直接必要な実費相当です。</p> <p>機械装置、備品等、原材料費（実験用材料、試薬等）、その他の消耗品等、旅費・謝金、試験外注費等の諸経費、学術研究員等の人件費など研究遂行に支障が生じないよう適切に積算してください。</p>
	知的貢献費	<p>研究に従事する研究担当者が提供する知的貢献の対価です。</p> <p>研究は上記の実費のみで行われるものではなく、研究者の「知」により遂行されますので、その分の対価を企業等にお支払いいただきます。</p> <p>※研究者の高度な知見、当該研究の背景となる基礎研究等の価値や研究者の共同研究への関与時間に対する報酬等を勘案し、企業様と協議のうえ、金額を決定します。</p> <p>原則として研究者に配分され、研究室の研究環境改善等に充当されます。</p>
間接的なコスト	間接経費	<p>研究実施のために、大学全体として負担する経費相当です。</p> <p>研究者に直接措置される経費ではありません。</p> <p>大学が研究施設、研究設備等を維持管理し、大学全体の研究機関としての機能維持・向上と戦略的な産学連携活動の推進のために充当されます。</p>

新設

積算例

例) 直接経費 1,000万円、知的貢献費500万円、の場合、

- 直接的なコスト = 1,000 + 500万円 = 1,500万円
- 間接経費 = 1,500 × 30% = 450万円

⇒ 研究経費全体 1,950万円

① 研究に要する実費

直接経費

1,000

② 研究者の「知」の対価

知的貢献費

500

③ 研究機関全体への負担額

間接経費

450

【直接的なコスト】

本学が提供する研究の直接的な対価として、研究者に対して企業等が負担する経費

【間接的なコスト】

本学全体に対して、企業等が負担する経費

直接的なコストの30%相当を積算